

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人なないろの会 クレヨンキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		2024年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		2024年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・室内遊びか公園遊びかを子どもたち1人1人に選んでもらっている。 ・おやつ買い物のイベントでは自分で選んだおやつを購入して食べている。 ・マリimba遊び、ダンス遊びなどのイベントも参加するかどうかを子どもたち自身に選んでもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も時間がかかったり、迷いながらも子どもたち自身が自己決定できるような支援をしていく。 ・子どもたちが素直な気持ちを表現しやすい環境を引き続き整えていく。
2	屋外活動が充実している	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩や車で公園に行く機会を多く設けている。雨の日は高架下の公園を利用している。 ・特に夏休み中は、午前中は公園の水場で遊び、午後には事業所の駐車場でビニールプールをするなど、子どもたちが大好きな水遊びを満喫できるようなプログラムを組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に楽しく公園で遊べるようにする。 ・下校時間などの関係で、公園に行ける機会が少ないお子さんもいらっしゃるのでは、どうすれば行けるかを考えていく。
3	活動終了後にスタッフでその日の報告、記録、相談などを欠かさずに行い、子どもたちの様子の把握や情報共有につとめている	<ul style="list-style-type: none"> ・その日全体の報告、まとめの他、子ども個人のケース記録をきめ細やかに記入している。 ・ヒヤリハットや身体拘束、対応に迷った話だけではなく、子どもたちの可愛かった&面白かったエピソードなども積極的に話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接話し合う場が重要だと思うので、今後も継続する。 ・その日にシフトが入っていなかったメンバーにも情報が伝えられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他施設や地域の方たちとの交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性は感じているが、様々なリスクもあるため、簡単に踏み出せない。 ・公園で地域の子どもたちと一緒に遊ぶこともあるので、それも交流と言って良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことならできそうなのかを話し合っていく。
2	避難訓練の実施など、緊急時における対応の評価が低い	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（地震もしくは火事）は基本的に月に1回は実施し、なないろ通信にも載せているが、ご利用日にかぶらない方もいるため、あまり知られていない。過去に警視庁をお招きして防犯訓練を行ったこともある。防犯対策でALSOKを導入しており、ボタン1つですぐに通報できる体制を整えている。 ・各マニュアルは入会時に説明・配布したが、それだけでは弱いと感じる。業務継続計画も災害編と感染症発生編をそれぞれ作成しているが、保護者に伝えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を継続し、実施した日は必ず保護者にお伝えする。保護者会などで訓練の様子を見ていただく。 ・これまで通り、なないろ通信に避難訓練の記事を載せる。 ・非常食や水分、その他備蓄品を緊急時のために備蓄・管理していることをアピールしていく。
3	正職員の人数が不十分で、残業が常態化している	<ul style="list-style-type: none"> ・募集はしているが、経費もかかるため、応募がまったくないと赤字になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・労働条件、処遇、募集媒体の見直しの必要を感じる。